

附中通信

～気づきが拓く学校づくり～

三重大学教育学部
附属中学校

N o 2

平成30年4月11日

校長先生の入学式のお話より

校庭では芽吹いた草木の緑が輝き、遠くの山々には春霞（がすみ）がたなびく、うららかな季節となりました。

本日は、駒田美弘三重大学学長様を初め、多数のご来賓の皆様、ならびに保護者の皆様のご臨席をいただき、入学式を挙行できますことを深く感謝申し上げます。ただいま、皆様の見守る中で、新入生144名の名前が1人1人呼ばれました。本校の教職員、在校生とともに、新入生の皆さんを心より歓迎します。皆さんはいま、これからの附属中での生活について、大きな期待とともに、不安も感じていることと思います。しかし、自分のまわりを見てください。皆さんのすぐ隣には、自分と同じような気持ちを持っている同級生がいます。お互いに、少しずつ話をしながら、気の合う友達をぜひ作っていきましょう。そして、友達から力をもらったり、あるいは友達の力になったりしながら、附属中での生活を楽しく充実したものにしてほしいと思います。まちがえたり失敗したりすることもあります。全く心配はいりません。

「失敗は成功の母である」という言葉があります。失敗してもすぐ諦めずに、その原因を調べ、やり方を工夫することによって、成功への道は必ず開かれるという意味です。失敗を恐れて何もしなければ、そこからは決して何も生まれないのです。分からないことや疑問に思ったことは、遠慮なく先生や先輩に尋ねましょう。皆さんの希望や目標を実現できるように、私たちも精いっぱい応援してゆきます。さて、私の専門は、理科の中の物理学という分野なのですが、今日は、物理学の分野で発見された「エントロピー増大の法則」についてお話をしましょう。「エントロピー増大の法則」。これは、自然界のすべての出来事は、必ずエントロピーという量が増加する方向に進む、ということを表した法則です。エントロピーとは、「乱雑さ」や「乱れた状態」の程度を表す量のことです。すなわち、ものごとは、だんだん乱雑さが増加する向きに変化してゆく、ということになります。この法則を表す2つの例をあげましょう。1つ目。コップの中の水に黒いインクを1滴ポトンと垂らしたとき、時間が経つとどうなるか、を考えてみましょう。家に帰って、実際に試してみるとおもしろいと思います。時間が経つにつれて、インクはだんだん水と混ざり合い、最後には水全体が黒っぽい色へと変化します。初めのインクと水が分離した状態が、整頓されたエントロピーの小さな状態です。インクの粒子がバラバラになって水の中に散らばった最後の状態が、エントロピーが増加した乱雑な状態です。そして、そのあと、どんなに時間が経っても、バラバラになったインクの粒子が再び1か所に集まって、初めの状態へと変化することは決してありません。

2つ目の例です。いま皆さんは背筋を伸ばしてとても規則正しく並んで座っています。すなわち、エントロピーが小さい状態です。しかし、このあと、私の話や、新入生や在校生代表の話を聞くうちに、お尻や背中が痛くなってもじもじと体を動かし、次第に、姿勢が悪くなったり列がでこぼこになったりして乱れてゆきます。これが、だんだんエントロピーが増加して行く様子です。エントロピー増大の法則によって、自然とそうなるのです。ところが、入学式の途中で、教頭先生が、「姿勢を正して！」と指示をしたとします。皆さんは、急いで体の向きを直して、そして最初の規則正しく並んだエントロピーの小さな状態に戻ります。このように、自然現象だけではなく、私たちの生活や経済的な営みのすべては、自然にしておく、必ず規則正しく整頓された状態から不規則で乱雑な状態へと変化してゆきます。これは止めようのな

い自然な変化なのです。そして、人が生きてゆくためには、このエントロピー増大の法則という自然な流れに逆らって、先ほどの姿勢を正したときのように、規則正しく整頓された状態に戻す努力を続けてゆかなければなりません。自然な流れに逆らうことは、きつくて辛いことですが、それでも私たちは、何らかの秩序を作りだしながら、前向きに生きてゆかずにはいられないのです。そして、そのことこそ人が成長してゆくということなのです。

皆さんも、これからの学校生活の中で、エントロピー増大の法則に逆らいながら、勉強、部活、生徒会活動、読書、遊びなど、多くのことに挑戦してゆきましょう。そして、エントロピーが増大したと感じたら、見直しをしたり、練習を工夫したりすることによって、エントロピーの小さな整頓された状態に戻し、自分を磨きながら、成長して行ってほしいと思います。最後になりますが、保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これから3年間、本校の教育・研究活動にご理解をいただくとともに、ご家庭への連絡や学校行事、および育友会活動などを通して、ご支援を頂きますよう、どうぞよろしくごお願い申し上げます。生徒一人一人が主役となって、充実した学校生活を送れるよう、我々教職員一同、全力で指導にあたってゆくことをお誓いして、私の式辞とします。

☆【部活動のきまり】の一部変更と確認

○活動時間

（朝の活動） ・7時30分より8時15分までとする。（朝練習は強制ではありません。顧問の先生と十分相談してください）

（放課後の活動）

・完全下校15分前までとする。完全下校の時間は下表の通りとする。

・原則として木曜日を休養日とする。ただし、学校行事等により同一週内に活動停止日がある場合はこれを休養日とする。

	4月	5～7月	8月	9月	10月	11月	12月	1・2月	3月
部活終了	17:15	17:45	17:30	17:15	17:00	16:45	16:30	16:45	17:00
完全下校	17:30	18:00	17:45	17:30	17:15	17:00	16:45	17:00	17:15

※但し、テストに関わる次の期間は、朝・放課後とも活動を停止する。※太字変更部分

① 中間テスト開始日5日前からテスト終了まで

② 期末テスト開始日7日前からテスト終了まで

ただし、テスト期間中及びテスト終了日より3日以内に公式試合等のある場合（練習試合は除く）は、テスト期間中に3日間の放課後の練習を認める。この練習の参加については原則として拘束力はない。時間は1時間30分までとし、保護者に周知のうえ、顧問の直接指導を必要とする。また、職員会議、研究会、それらに準じる会議の場合は原則として中止とする。ただし、中体連主催、またはそれらに準じる試合がその日から3日以内にある場合は、練習を認める（練習内容の指示徹底と適宜見に行くことを行う。）

③ 放課後の練習時間延長について

公式試合・大会、協会・連盟関係試合および文化祭等の発表会のある5日前から3日間を原則として認める。時間は30分を限度とする。

○休日（土曜、日曜、祝祭日）の活動について

・土曜、日曜、祝祭日の活動は、原則としていずれかの日を休養日として休みとするようにする。

ただし、公式試合・大会、協会・連盟関係試合があるときはこの限りではない。

・活動時間は、休憩・片付け等を含めて4時間を上限とする。ただし、練習試合についてはこの限りではない。

・登下校中の服装は、ユニフォームまたはそれに準じるもの、体操服、制服のいずれかとする。

・生徒の健康状態、疲労状態を考慮し、必要ならば平日に休養のとれるようにする。

○活動時の服装、シューズについて

・ユニフォームは競技に出場するときの服装のことをいい、練習時の服装は、本校指定の体操服か、ユニフォームまたはそれに準じるものとする。ただし、練習に使用するシューズはその種目に応じたものを認める。また、ユニフォームは学校の代表としてふさわしいものとし、著しく高価なものはさけるよう指導する。

・ユニフォームに準じるものとは、各部活でそろえた服装、各種目の連盟または協会などから一斉購入した服装、白地のワンポイントシャツ（Tシャツ、ポロシャツ）とする。

・防寒着（ウィンドブレーカ等）については、ユニフォームに準じるものと同様、著しく高価なものはさけるよう指導する。

○練習試合について

・計画的に実施し、生徒の健康を十分考慮する。

・他校での練習試合の場合、移動は、公共交通機関を利用することを原則とする。自転車を利用する場合は、顧問が自転車点検・指導を行い許可する。

○長期休業中の練習については別に定める。

※主なきまりをまとめました。わからないことや判断に迷われたときは、顧問の先生に相談してみてください。

自分で決めた部活動。3年間やり抜く強い気持ちをもって、自分の可能性に挑戦していこう！

